

令和 2 事業年度

決 算 報 告 書

(第 17 期)

自：令和 2 年 4 月 1 日

至：令和 3 年 3 月 31 日

国立大学法人岡山大学

令和2年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,685,000,000	18,187,463,000	502,463,000	(注1)
施設整備費補助金	2,782,000,000	1,899,283,796	△ 882,716,204	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	788,000,000	4,941,217,240	4,153,217,240	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	52,000,000	52,000,000	0	
自己収入	41,667,000,000	40,629,427,801	△ 1,037,572,199	
授業料、入学料及び検定料収入	7,388,000,000	6,912,986,182	△ 475,013,818	(注4)
附属病院収入	33,419,000,000	32,467,436,962	△ 951,563,038	(注5)
財産処分収入	—	361,000,712	361,000,712	(注6)
雑収入	860,000,000	888,003,945	28,003,945	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,301,000,000	5,899,669,443	598,669,443	(注7)
引当金取崩	501,000,000	561,701,993	60,701,993	
長期借入金収入	12,000,000	10,358,000	△ 1,642,000	
貸付回収金	9,000,000	8,893,727	△ 106,273	
目的積立金取崩	494,000,000	231,845,155	△ 262,154,845	(注8)
計	69,291,000,000	72,421,860,155	3,130,860,155	
支出				
業務費	58,311,000,000	55,259,367,383	△ 3,051,632,617	
教育研究経費	24,043,000,000	22,600,365,832	△ 1,442,634,168	(注9)
診療経費	34,268,000,000	32,659,001,551	△ 1,608,998,449	(注10)
施設整備費	2,846,000,000	1,961,641,796	△ 884,358,204	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	788,000,000	4,576,634,940	3,788,634,940	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,302,000,000	5,426,109,481	124,109,481	(注13)
貸付金	29,000,000	16,390,001	△ 12,609,999	
長期借入金償還金	2,015,000,000	2,012,656,379	△ 2,343,621	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	180,000,356	180,000,356	(注14)
計	69,291,000,000	69,432,800,336	141,800,336	
収入-支出	—	2,989,059,819	2,989,059,819	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、以下の要因により、予算額に比して決算額が502,463,000円多額となっています。

①予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金及び基幹運営費交付金が措置されたこと。

(注2) 施設整備費補助金については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が882,716,204円少額となっています。

(注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の増加や新型コロナウイルス感染症関連の補助金により、予算額に比して決算額が4,153,217,240円多額となっています。なお、授業料等減免費交付金が364,582,300円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、当初の在学者数等見込みからの減少及び新制度による授業料免除等のため予算額に比して決算額が475,013,818円少額となっています。なお、新制度による授業料免除(授業料等減免費交付金)は補助金に含まれています。

(注5) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症による患者受入や手術制限等の影響により、予算額に比して決算額が951,563,038円少額となっています。

(注6) 財産処分収入については、土生宿舍土地の売却により、予算額に比して決算額が361,000,712円多額となっています。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金収入及び受託研究収入等の増加等により、予算額に比して決算額が598,669,443円多額となっています。

(注8) 目的積立金取崩については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が262,154,845円少額となっています。

(注9) 教育研究経費については、経費節減、次年度以降へのインフラ整備等のための繰越により、予算額に比して決算額が1,442,634,168円少額となっています。

(注10) 診療経費については、(注5)に示した理由等による、経費節減、次年度以降へのインフラ整備等のための繰越により、予算額に比して決算額が1,608,998,449円少額となっています。

(注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が884,358,204円少額となっています。

(注12) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,788,634,940円多額となっています。なお、授業料等減免費交付金の364,582,300円は、授業料等免除に使用しております。

(注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が124,109,481円多額となっています。

(注14) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が180,000,356円多額となっています。